

# 病院の実力「栄養サポート」

## 医療機関別体制と2012年活動実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	年間 の介入 (人)	連携 している チーム	NST 加算
鳥取県	県立厚生	158 床,感,安	
	西伯	82 床,他	○
	三朝温泉	80 床	○
	鳥取大	74 床,他	○
	野島	38 床	
	県立中央	25 摂,床	
島根県	加藤	98 摂,床	
	益田赤十字	78 床	
	益田地域医師会	56	
	島根大	49 摂,床,感,安,他	○
	県立中央	44 摂	
岡山県	大田市立	床	
	倉敷中央	1137 摂,床	○
	光生	229 摂,床	○
	川崎医大	201	○
	金田	190 摂,床	○
	井原市民	179 摂,床,感,安	○
	岡山大	105 摂,床,呼,他	○
	玉島協同	96 摂,床	
	川崎医大川崎	93 摂,床	○
	勝山	76 摂,床,感	
	児島中央	29 床	
広島県	県立広島	386 摂,床,他	○
	尾道市立市民	322 床,呼,感,他	○
	広島大	290 摂,他	○
	安芸市民	250 摂,床	○
	広島市立安佐市民	228 摂,床,呼	○
	広島共立	約190 床,感,安	○
	福山市民	170 他	○
	呉共済	164 摂,床	○
	国・呉	157 床,呼,感	○
	市立三次中央	119 床	
	楠本	84 摂,床,他	○
	マツダ	66 床	
	J A尾道総合	35 床	○
	広島赤十字・原爆	— 摂,他	○
山口県	山口大	322 摂,床,感,安,他	
	岡田	155 摂,床,感,安	○
	小野田赤十字	152 摂,床	
	下関厚生	114 摂,床,安	○
	国・山口宇部	41 床	
	県立総合	35 摂,床,呼,感,安	
	山口労災	— 摂,床	
	萩市民	— 摂,床	
徳島県	徳島赤十字	289 摂,床,呼,感	○
	ホウエツ	142 摂,床	○
香川県	三豊総合	約660 摂,床,感	○
	香川大	593 摂,床,感,安,他	○
	回生	519 摂,床,感	○
	屋島総合	200 摂,床,感	
	国・高松	180 摂,床	
	県立中央	40 床	
	橋本	39 床,感,安	
	高松赤十字	— 摂,床,感	○
愛媛県	市立宇和島	191 床,他	○
	愛媛労災	20 摂,他	
	松山市民	— 摂,床,他	○
	済生会今治	— 摂,床	
高知県	近森	2633 摂,床,呼,感,安	○
	高知大	36 摂,床,感,安	
	高陵	10 床	
	高知赤十字	— 摂,床,呼	○

「国・」は国立病院機構。「—」は無回答または不明。「摂」は摂食・嚥下、「床」は床ずれ(褥瘡)対策、「呼」呼吸管理、「感」は感染対策、「安」は医療安全、「他」はその他

# 改善方法 回診で指導

「栄養サポート」は、感染症を防止したり回復を早めたりすることを目的に、患者の栄養状態を改善する院内の取り組みだ。

活動の中心が「栄養サポートチーム」(NST)。研修を受けた医師と看護師、薬剤師、管理栄養士などをつくる。対象は、表の「介入数」は、NS

Tが栄養状態を把握したうえで改善計画を立て、回診や症例検討などを通じて指導を行った患者数を示す。病院の規模にもよるが、介入数が多い病院はNSTの活動が活発とみられる。

「連携しているチーム」は、NSTと一緒に活動したり、情報をやり取りしたりする病院内のチームのこと。のみ込む機能が衰えている患者に対し、嚥下(のど)や下対策チームのほか、「褥瘡(床ずれ)対策チーム」「感染症対策チーム」などが多い。

誤嚥性肺炎の発生率が減ったり、経管栄養だった人が口から食事ができるようになったりと、様々なメリットがある。

「栄養サポートチーム」加算は、NSTの体制が整っているかどうかをみる指標の一つ。メンバーのうち、医師が看護師、薬剤師、管

\*全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。